

太陽電池発電 技術展望探る

仙台でセミナー

半導体関連の企業などでつくる日本半導体ベンチャー協会東北支部は7日、仙台市青葉区の市福祉プラザで、市場が急成長している太陽電池発電の将来を考えるセミナーを開いた。

講演した三洋電機ソーラーエンジニア研究部の丸山英治部長は「エネルギー変換効率を改善するとともに、品質を落とさなくとも太陽電池のシ

リコンウエハーを薄型にできる技術開発をさらに進める必要がある」と話した。

東北大金属材料研究所の川添良幸教授は、材料開発の重要性を強調し、「実験を説明する理論ではなく、新しい物質や材料を予言できる理論を展開しなければならぬ」と述べた。

セミナーには関係者ら約80人が参加し、太陽電池分野で国内トップメー



太陽電池発電への理解を深めたセミナー

カーの取り組みなどを紹介した講演などに聞き入っていた。